

# 備北・センター だより

## 発行所

三次市十日市東三丁目 14-1

三次市福祉保健センター1F

一般社団法人備北地域生活支援協会

備北障害者就業・

生活支援センター

TEL. (0824)-63-1896

発行人：谷口光治

・病院の概要をお聞かせ  
ください。  
庄原赤十字病院は、庄  
原市唯一の総合病院です。  
診療科は18科、病床数



庄原赤十字病院外観

・「地域医療の砦」とはど  
のような医療ですか。  
治療のために都会の病  
院まで行くのではなく、  
広島県北部の中山間地域  
において、急性期から慢  
性期までの治療を行うこ  
とです。  
建物上の赤十字マーク  
が夜も灯っているのをご

は一般病棟・療養病棟・地  
域包括ケア病棟合わせて  
303床あり、職員数は  
臨時職員・パート職員を  
含め450人が働いてい  
ます。

・障害のある方を雇うさ  
れて何か配慮されている  
ことはありますか。  
ご本人の状況に合わせ  
て、仕事内容や勤務時間  
を考慮しています。

・障害者雇用は何人され  
ていますか。  
全体で7名雇用してい  
ます。その内2名は正規  
職員です。

・これからも障害者雇用  
を継続されていくための  
気付きや要望などあれば  
お聞かせください。

メンタルヘルスについ  
ては、産業医・保健師・人  
事労務担当者などで構成  
する「復帰支援委員会」で  
復帰支援プログラムを作  
り、対応しています。

## 職場 拜見

今回は昭和十八年に日本赤十字社 広島県支部  
庄原療院を前身として開設した庄原赤十字病院  
の宮本総務課長にお話を伺いました。  
庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字  
精神にのっとり、地域の皆さま方の健康・医療・  
福祉を職員一丸となって守っています。

存知でしょうか。あのマ  
ークには「その光を絶や  
さないように」との願い  
が込められています。  
・障害者の雇用を考えら  
れたきっかけはどんなこ  
とだったのでしょうか。

・長期に休まれている方へ  
の対応をお聞かせくださ  
い。



夜間の庄原赤十字病院

求職者との仕事のマッチングが難しいと感じています。最近では、ほとんどの業務でパソコンを使用するため、パソコン操作が可能なのが大前提となってきました。そのようなスキルをお持ちの方がいらっしやいましたら、よろしくお願います。

・大変忙しい中ありがとうございます。ありがとうございました。

私たち  
羽ばたいています

庄原赤十字病院に勤務されている4名の方にお話を聞きました。

・皆さんは就労開始からの期間はそれぞれ違いますが、どのような経路で入社したかお伺いします。  
Aさん：ハローワーク



取材の様子

の紹介でセンターへ登録後、赤十字病院の話をいただきました。勤務して1年半になります。

Bさん：ハローワークの紹介でセンターへ登録しました。当時は他の仕事をしていたのですが、身体的にしんどく、契約更新を期に転職を考えていた時、この話をいただきました。勤務開始から4年が経とうとしています。  
Cさん：ハローワークの紹介で直接応募しました。勤務して5か月が経ちます。

Dさん：センターへ登録後、契約期間のある職場で働いていたところ、

この話をいただきました。3月で勤務開始から2年が経とうとしています。

・現在の職務と仕事で気がついていること、大変だったことはありませんか  
Aさん：ブランクがあったため、生活リズムを整えるのが大変でした。

Bさん：電話対応や各科医師への郵便物配布、発送準備などをしていました。電話対応では、患者さんや業者さんなど相手に応じて取り次ぐ部署が違つので、覚えるのが大変でした。

Cさん：エコー室でカルテの読込作業や患者さんの案内をしています。間違いが無いよう、その都度確認をしながら作業しています。



Dさん：「医師事務作業補助者」の資格を取得し、診断書の下書きや処置入力、診療文書の取込みをしています。間違いが無いよう3回は確認するよう気をつけています。

・仕事を始めて良かったことや変化はありましたか。また、長く続いている要因は何ですか。  
Aさん：働く喜びをとても感じています。職場でのやり取りも楽しいです。次の日に疲れを残さないよう睡眠には気をつけています。

Bさん：体調管理はもちろんです。辛抱強く仕事に取り組むことだと思います。  
Cさん：通院や体調に合わせて仕事が出来ると良かったです。病状について、職場の人も知っているの、気持ちも楽です。

Dさん：いろんな病名を知り、医療についての知識がついたことです。

・休日等余暇にやっておりますことはありますか  
Aさん：ウォーキングなどでリフレッシュしています。

Bさん：趣味のドーム菊づくりです。農作業もしています。  
Cさん：家事や掃除をしています。

Dさん：美味しいケーキ屋探しをしています。  
・宮本課長から皆さんにひとこと。  
働いている部署は、みなさんそれぞれ違いますが、職員の一員として頑張っておられます。引き続きよろしくお願います。



ありがとうございました。

# 事業所紹介



今回は庄原市西城町のしあわせ館内で活動されている障害者支援事業所『西城さをりしあわせ工房』を訪問し、代表の角田さんにお話を聞きました。



・まず最初に、事業所紹介をお願いします。



織機と反物群

当事業は平成16年に市の障害者支援事業から引き継ぐ形で開所となり、「さをり」を織りそれを加工して数か所の事業所に卸し、販売した収益を利用者に分配していく形をとっています。

・定員と利用者数、スタッフ数は何名ですか。

定員は特に定めてはなく、織り機が現在12台余りありますので10名程度は利用可能です。現在常時利用されている方は5名程度です。

スタッフは2名でほかにボランティアで1名の方に協力いただいています。

・活動内容や利用時間はどうなっていますか。

活動内容は「さをり」を織り機で織る人、織られた反物を製品に加工する仕立ての作業があります。反物を織ることは割と簡単にできますが、製品に仕立てる方は1名しかおられず、そちらの技能を發揮できる方がおられれば助かります。

活動時間は10時から15時までとなっています。



加工された製品群

・活動をされる中で、工夫されている点はありませんか。

利用者は身体・精神障害の方がほとんどですが、作業フロアーは広く冷暖房も完備しバリアフリーとなっております。

他の団体と曜日を分けて利用することで楽しく活動できています。

また、各地のイベントなどの情報を取り入れ、可能であれば参加をして販売をするようにしています。

一般の方が「さをり織り」の事業を行いたいとのことで、指導者がこちらで体験利用をされたり、そんなお手伝いもしています。

・そのほか行事はありませんか。

他の事業の見学・研修というところで旅行を兼ねて年に2回程度ですが、全国の仲間の展示会へ出品したり見に行ったりしています。



織り機で作業中のAさん(上)

反物点検中のBさん(下)



・今後、どのような事業所を目指していますか。

身体障害の方だけでなく引きこもりの方などの利用も可能です。楽しくのんびりと気軽に利用してもらえ事業所を目指しています。また利用は可能ですが、

気軽にお立ち寄りください。

・ありがとうございます。



# センターの窓

平成27年11月以降のセンター職員の研修会への参加状況について報告します。

①平成27年12月5日  
場所・東京新宿

『就労支援フォーラム』

1名参加(二日間)

良い就労支援事業って何だろう?経済学や経営の視点からのシンポジウムや精神障害・高次脳機能障害・発達障害の基本のへきとの題でセミナーがあった。その後の分科会2セットに参加し二日間のフォーラムを終了した。

②平成27年12月15日  
場所・東広島市

『県内ナカポツセンター連絡会』 3名参加

労働局、職業センター

からの情報提供の後、各センターからの質疑・応答があった。

後半はグループディスカッションで今後の連絡会の開催方法、求職者の掘り起こしについて、定



着支援について、定着支援についてなど  
の討議がなされた。

③平成28年1月27日

場所・松江市

『精神障害者に対する雇用管理と好事例普及セミナー』 2名参加

統合失調症で精神福祉手帳3級の男性の雇用

について会社側と支援者側の双方から発表がある。続いて障害者の多数雇

用をされている企業から業務内容やポイントなどの発表があった。

④平成28年1月28日

場所・萩市 2名参加

三次市農政課、福祉課、障害者支援センターと合同で萩市の農福連携を実施されている法人に伺い事業の進め方や障害者の担当職務について話を聞いた。



⑤平成28年2月8日

場所・福山市 2名参加

『障害者差別禁止指針』等に関する説明会

障害者差別解消法と改正障害者雇用促進法を踏まえて「Q&A」を入れた

レシユメで説明があった。⑥平成28年2月8日  
場所・広島市 1名参加

センター活動実績 平成28年2月29日現在

- 就職者数 211件(22年4月から累計)
- 企業実習 127件(22年4月から累計)

就職先: 食品製造、製造業、福祉施設、林業  
病院、日用品販売量販店、農業、建設業 etc

『平成27年度雇用移行推進会議・発達障害、精神障害者雇用支援連絡協議会・発達障害者等就労支援連絡協議会』

労働局、職業センター、ハローワーク、県内ナカポツセンター、教育委員会、医療機関等が集まり各機関の取り組み状況の報告や質疑応答があった。

### 編集後記

今年の冬は雪も少なく暖冬なのかと思っていたら、ここにきて急に寒い日が続いています。桜が咲くためにはこんな日も必要とのこと、今はその準備の期間と想って楽しみにしています。

これからまた、忙しい時期になります、体調に気を付けて頑張りましょう。

(中河)